

令和6年度

安城市の教育

安城市教育委員会

安城市民憲章

(昭和47年制定)

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

青少年をすこやかにはぐくむ都市宣言

(昭和57年6月8日)
議 決

あすの安城市を築く青少年が、豊かな情操と正しい社会性を持ち、心身共にたくましく育つことは、市民すべての願いである。

この願いを実現するため、市民ひとりひとりが姿勢を正し、青少年をとりまく環境及び諸問題への関心と認識を深め、相互の連帯を強めることによって、青少年が情熱と自覚と責任を持って行動できるよう見守っていく必要がある。

ここに市民の総力を結集し、次代を担う青少年の健全育成をめざし、安城市を「青少年をすこやかにはぐくむ都市」とすることを宣言する。

市 章



[昭和35年に制定]

安城の「安」を圖案化したもので、下部を末広がりにし発展を象徴、丸く囲んだのは円満・和を象徴しています。

市 の 木 (クロマツ)



[市民投票
昭和47年に制定]

かつての安城ヶ原は、小松の原野であり、現在の安城の緑の主体となっています。旧東海道の松並木は、400年の歴史を秘めて、市の文化財に指定されています。

市 の 花 (サルビア)



[市民投票
昭和47年に制定]

だれにでも作りやすく、家庭や学校の花壇に多く栽培され市民に親しまれています。夏から秋にかけて燃えるような赤い花をつけ、躍進著しい安城をしのばせませす。

シンボルマーク



[公募
平成4年に制定]

安城の頭文字「A」を圖案化したもので、青と緑の2色。未来に向かった大空と大地をイメージし、調和と力強い発展を表現しています。

はじめに

本年度から第9次安城市総合計画がスタートします。

学校教育では、これまで同様「学び合いやかかわり合いを重視した次世代を担う児童生徒の育成」「豊かな心やたくましい体の育成と健康教育の推進」「様々な支援を必要とする児童生徒へのきめ細やかな対応」「安全・安心・快適を重視した教育環境の充実」の4つを基本方針に掲げ、目指す姿の実現に向け取り組んでまいります。これまでの基本成果指標に示されている目標値について、現状を踏まえながら丁寧に検証していき、次なる課題を明確にし、成果を重視して計画を推進していきたいと考えております。そして、すべての子どもたちが自他の個性や生き方を認め、夢や希望をもって明るく元気に生きられるよう、2つの点において継続して充実を図ってまいります。

1点目は、「様々な支援を必要とする児童生徒へのきめ細やかな対応」です。本年度、社会福祉士を新たに1名増員し、計7名のSSW（スクールソーシャルワーカー）が市内の中学校区を担当しています。ケース会議や他機関との連携を図りながら、子どもたちの置かれたさまざまな環境にはたらきかけた支援を行ってまいります。また、新たに学校運営補助教員を配置したり、スクールアシスタント（介助員）を増員したりして個への支援に向けた整備を進めています。

2点目は、「学び合いやかかわり合いを重視した次世代を担う児童生徒の育成」です。各学校では、総合的な学習の時間などで、持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちが主体的に考え行動する実践が行われています。SDGsとの関連も含めた体験学習や問題解決学習を重視し、探究的な見方や考え方を働かせながら、よりよく問題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質や能力の育成に努めてまいります。また、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組み、個別最適な学びと協働的な学びの往還を意識した教育活動を推進し、自ら学び続ける力の育成をめざしてまいります。

本年度、「こどもまんなか社会」を推し進めていく上で、本市でも「安城子どもBOOSTERS」をキャッチコピーとして様々な施策が計画されています。また、地域と学校が連携・協働しながら、子どもの成長を支えていくために「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動」の導入に向けて、現在取り組んでいます。本年度は、中学校2校をモデル校として、その準備を進めているところです。

学校教育では、不易の部分大切にしながらも、変化を恐れず、将来の安城市を担う子どもたちの健やかな成長を願い、着実な歩みを進めてまいります。そして、「地道ではあるが進取の精神に富んだ安城教育」を合言葉に、本市の特色を生かした教育施策をさらに推進してまいります。

ここに「令和6年度版 安城市の教育」を刊行いたしました。この冊子を通じて安城教育に対する理解を深めていただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

安城市教育委員会教育長 石川 良一

目次

はじめに

I 安城市の概要	1
II 教育委員会	2
1 教育委員会委員	2
2 教育委員会の組織及び事務分掌	3
(1) 教育委員会の組織と職員数	3
(2) 事務分掌	4
3 教育費予算額等の推移	6
(1) 教育費当初予算額の推移	6
(2) 教育費決算額の推移	7
III 学校教育	8
1 学校教育の推進	8
(1) 教育実践の活動	8
(2) 教育センターの活動	18
2 児童生徒と教職員	21
(1) 幼小中学校児童生徒数	21
(2) 教職員数	23
(3) 中学卒業者の状況	24
(4) 児童生徒数推計	24
3 心身の健全育成活動	24
(1) 学校教育関係体育行事	24
(2) 学校保健	25
(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター	25
(4) 生徒指導推進の組織	25
4 野外教育活動	26
5 就学・奨学制度	27
(1) 奨学金制度	27
(2) 私立高等学校等授業料補助	27
(3) 緊急奨学支援金	27
(4) 就学援助	28
(5) 特別支援教育就学奨励	28
(6) 幼児教育無償化（私立幼稚園）	28
6 学校施設の設置状況	29
7 学校給食	30
(1) 学校給食の目標	30
(2) 学校給食の組織	30
(3) 調理場施設及び調理数	31
(4) 給食実施計画	31
(5) 食に関する指導	31
(6) 給食費の推移	32
(7) 給食内容	32
(8) アレルギー対応	32
(9) 小中学校児童生徒学校給食 無償化事業について	32

IV 生涯学習	33
1 生涯学習	33
(1) 生涯学習の目標	33
(2) 青少年教育	33
(3) 社会教育施設・団体等	38
2 公民館	40
(1) 公民館組織	40
(2) 公民館事業	41
(3) 公民館等施設	44
(4) プラネタリウム	46
(5) 利用状況	47
3 市民会館	49
(1) 市民会館の概要	49
(2) 利用状況	49
4 図書情報館	50
(1) 図書情報館事業の目標	50
(2) アンフォーレ（図書情報館） の施設概要	50
(3) 蔵書の構成及び冊数	51
(4) 登録者・入館者の状況	51
(5) 図書館事業の状況	52
5 歴史博物館	54
(1) 目標	54
(2) 館蔵資料	54
(3) 施設概要	55
(4) 利用状況	56
6 埋蔵文化財センター	57
(1) 概要	57
(2) 利用状況	57
7 市民ギャラリー	58
(1) 概要	58
(2) 利用状況	59
(3) 文化振興	60
8 丈山苑	63
(1) 概要	63
(2) 利用状況	63
9 文化財保護事業	65
(1) 目標	65
(2) 指定文化財	65
10 史料整理活用事業	66
(1) 調査・収集資料	66
(2) 教育普及活動	66
11 スポーツ	67
(1) スポーツ振興の基本方針	67
(2) 「する」スポーツの振興	67
(3) 「みる」スポーツの振興	71

(4) 「おしえる」スポーツの振興 ----	72
(5) 「ささえる」スポーツの振興 ----	73
(6) スポーツ施設環境の整備 -----	73
(7) スポーツ団体等の育成・支援 ----	74
(8) オリンピック・パラリンピック 開催後におけるスポーツの振興	75
(9) 体育施設 -----	77
(10) 利用状況 -----	79

付 録

1 歴代の委員 -----	81
2 教育委員会の沿革 -----	84
3 教育関係施設・休館日一覧 -----	92